

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
 (仮称)西南学院大学 新体育館

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>3.5</b>	
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>			<b>3.4</b>			
<b>1 音環境</b>		<b>4.0</b>	0.15			<b>4.0</b>			
1.1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>					
1.2 遮音		<b>5.0</b>	0.40						
1 開口部遮音性能	開口部に遮音性能の高いサッシを採用	<b>5.0</b>	1.00	<b>3.0</b>					
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音	スポーツ諸室の壁・天井に吸音材を使用	<b>4.0</b>	0.20	<b>3.0</b>					
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.6</b>	0.35			<b>3.6</b>			
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50						
1 室温		3.0	0.38	<b>3.0</b>					
2 外皮性能		3.0	0.25	<b>3.0</b>					
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38						
2.2 湿度制御		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>					
2.3 空調方式	アリーナ競技面において気流速0.15m/s程度となる計画	<b>5.0</b>	0.30						
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.0</b>	0.25			<b>3.0</b>			
3.1 屋光利用									
1 屋光率									
2 方位別開口									
3 屋光利用設備									
3.2 グレア対策									
1 屋光制御									
3.3 照度									
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	1.00						
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.5</b>	0.25			<b>3.5</b>			
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.50						
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆やVOCの放散量が少ない建材を利用	<b>4.0</b>	1.00						
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.30						
1 換気量		<b>3.0</b>	0.50						
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50						
4.3 運用管理		<b>3.0</b>	0.20						
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50						
2 喫煙の制御		3.0	0.50						
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>			<b>3.6</b>			
<b>1 機能性</b>		<b>4.2</b>	0.40			<b>4.2</b>			
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40						
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画		3.0	1.00						
1.2 心理性・快適性		<b>5.0</b>	0.30						
1 広さ感・景観									
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画	評価する取組のうち、4項目に該当	<b>5.0</b>	1.00						
1.3 維持管理		<b>5.0</b>	0.30						
1 維持管理に配慮した設計	評価する取組のうち、9項目に該当	<b>5.0</b>	0.50						
2 維持管理用機能の確保	評価する取組のうち、10項目に該当	<b>5.0</b>	0.50						
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.1</b>	0.30			<b>3.1</b>			
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>3.0</b>	0.50						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80						
2 免震・制震・制振性能		<b>3.0</b>	0.20						
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.0</b>	0.30						
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20						
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20						
2.4 信頼性		<b>3.6</b>	0.20						
1 空調・換気設備	評価する取組のうち、2項目に該当	<b>4.0</b>	0.20						
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20						
3 電気設備		3.0	0.20						
4 機械・配管支持方法	耐震クラスAとして計画	<b>4.0</b>	0.20						
5 通信・情報設備	評価する取組のうち、3項目に該当	<b>4.0</b>	0.20						

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.3</b>	0.30	-	-	<b>3.3</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.0</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり		-	-	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率が0.1以上かつ0.3未満	4.0	1.00	-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.5</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		評価ポイント:5	<b>5.0</b>	0.40	-	-	<b>5.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>		評価ポイント:4	<b>4.0</b>	0.50	-	-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.3</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		BPI: 0.62	<b>5.0</b>	0.20	-	-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>		重力換気を採用したソーラーチムニーを計画	<b>4.0</b>	0.10	-	-	<b>4.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 0.87	<b>2.6</b>	0.50	-	-	<b>2.6</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.6</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
<b>1.1 節水</b>		節水型の機器を積極的に採用	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.8</b>	0.60	-	-	<b>3.8</b>
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	基礎・基礎梁・捨てコンクリートに高炉セメントを採用	5.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ロックウール化粧版、ビニル床材、FAフロアでエコマーク商品を採用	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.3</b>	0.20	-	-	<b>3.3</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>		有害物質を含まない材料を2種類採用	<b>4.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.0</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		-	-	-	-	
3	冷媒		3.0	1.00	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		ライフサイクルCO2排出量が参照値の91%	<b>3.3</b>	0.33	-	-	<b>3.3</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.33	-	-	<b>3.1</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>3.5</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	透水性・保水性に優れた材料を外構に採用	4.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	評価ポイント:3	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.33	-	-	<b>3.1</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>3.7</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	評価ポイント:3	4.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	